2022 年度第 3 回理事会　議事録　2022.7.21

日時：2022 年 7 月 21 日（木）19：00～21：29
場所：オンライン開催のため各自自宅・職場
出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、木村修介、望月強併、澤口勇、西川航平、大郷和成(16 名)
欠席理事：佐藤隼、戸塚香代子　(2 名)
出席監事：錠内広之、野々垣睦美(2 名)

Ⅰ.会長より挨拶

11 月の理事会は対面式理事会の開催を考えて準備していますが、このところの新型コロナウィルス感染症の拡大がみられていますので、今後の動向を注視して開催方法については見極めていきたいと考えています。みなさんも健康管理に留意してください。それでは本日もよろしくお願い致します。

Ⅱ.報告事項について(各部署・理事)

【各部署】

１．事務局

(1)Xdrive(オンラインストレージ)運用について

Xserver の無料クラウドストレージ Xdrive の運用を開始する。情報の共有を目的として以下の資料について、閲覧・ダウンロードを各理事・監事が各自で行えるように整備した。8 月 1 日より運用を開始する。

この運用に伴い今年度の研修会やイベント、会議について決定しているものを一度集約する。重複があるものについては各部署間で調整をお願いする。以下の項目で使用を予定する。

ア)研修会・会議・イベント年間予定の共有
イ)Zoom 予約情報の共有
ウ)理事会資料の共有
エ)理事 ML 配信資料の共有(OT 協会、神奈川県、他団体など)

(2)第 2 回　47 都道府県委員会

日本作業療法士協会よりハイブリット開催からオンライン開催に変更と連絡があった

２．財務部

(1)会計処理について

今年度より毎月の提出時にウェブ会議領収書の提出は不要。監査の際のみ提出。現在のところ不備はなし。

３．学術部

5～7 月にて各月 1 回ずつの研修会を実施した。正会員を中心に学生や非会員の参加も複数人あり、概ね平均 40 名程度の参加があった。今年度も順調な開催開始となった。新人入会を促進する機会になると感じているが、その一方で中堅やベテランの非会員の入会のきっかけづくりになっていると考えている。また学生に関しては講師の了承をいただけた場合には無料での参加を可能としている。

今後も毎月 1 回程度のオンライン研修会開催を予定。新型コロナウィルス感染症流行から 2 年以上経過したが、スキルアップ研修として少人数の対面式研修会企画を模索している。

＜意見交換＞

〇研修会の開催方法については当会での統一した見解が必要ではないか

→現段階では開催できるかどうかの希望として企画を検討している

○他学会の開催状況や感染症の流行状況を見極めながら、研修会開催部署で統一した対応ができるよう今後決定していくこととする

4．教育部

(1) 研修会予定について

今年度は以下の日程と内容で開催を予定している。

ア)10 月 16 日（日）　現職者共通研修①

イ)11 月 12 日（土～13 日（日）　臨床実習指導者講習会①

ウ)11 月 20 日（日）現職者共通研修②

エ)12 月 3 日（土）～4 日（日）　臨床実習指導者講習会②

オ)1 月 28 日（土）～２9 日（日）臨床実習指導者講習会③

カ)2 月 12 日（日）　現職者選択研修（老年期）

キ)2 月 23 日（木）　現職者共通研修（発達）

ク)2 月 26 日（日）　現職者共通研修③　＊事例報告会

ケ)3 月 19 日（日）　臨床実習指導者講習会④　＊実践者アドバンスコース

コ)未定　　事例報告登録研修会　日本作業療法士協会の動向に合わせて検討中

各理事にも講師を依頼することがあるので引き続き協力をよろしくお願いします。

5．広報部(吉本事務局長が代行して報告)

(1)県士会ニュースについて

217 号（送付）製作中。最近は送付号（4 月、8 月、12 月号）に掲載記事が集中する傾向がある。送付号は基本的に 8 頁印刷で製作しており、紙面制約があるため次号に繰り越すなど原稿の調整を行っている。

(2)リハビリテーション現場見学の問い合わせ対応について

広報部員の所属先に県内高校教員から学生の現場見学斡旋受付に関して問い合わせあり。福利部主催（広報部とのコラボ企画）の『小中高校生向けオンライン施設見学会』を紹介する。本見学会については 7 月 4 日に打ち合わせを行った。

6．福利部

(1)オンライン施設見学会について

代議員宛にアンケートを送付し 4 施設が受け入れていただいた。8 月 18 日に中学生を対象とした特別デイ（身障と精神の 2 領域の施設を 15 分程度オンラインでつなぐ総論的な会）を広報部との協働で開催予定。

(2)新入会員オリエンテーションについて

領域ごとのオンラインオリエンテーションを企画していたが募集期間が短く集客の困難が予測されるため中止とし、代わりにホームページに県士会紹介動画を掲載することとした。対象は入会した会員、これから入会を検討している非会員を対象に県士会について知ってもらうツールとする。各部署には紹介資料の作成を依頼する予定。

＜意見交換＞

○これまで開催してきたような入会オリエンテーションは開催しないのか。必要な事業だと考えるのでぜひ開催してほしい

→今後開催を検討している

○会員増ワーキンググループで検討している入会特典と結び付けて開催を検討してみてはどうか

→相談検討する

○紹介資料に関してはフォーマットを配信してほしい。
→PowerPoint フォーマットを配信する
○紹介内容は理事と部署の紹介で良いのか
→良い
○視覚に訴える内容にしてほしい。例えば県士会の理事全員の写真を撮影して掲載してどうか
→オンライン理事会の画面をスクリーンショットで保存して使用してもいいのか
○ホームページ公開という特性からためらう役員がいるのではないか
→希望される役員は個別に福利部に連絡をする
○あまり堅苦しい内容ではなく見る人にとってアットホームな内容にしたら良いと感じる
→参考とする
○動画の長さが 30 分間は視聴する人にとっては長すぎるので再検討してほしい
→適正な長さになるように調整する

7．地域リハビリテーション部

(1)地域リハビリテーション人材育成研修会について

今年度の研修会の内容・日程について報告共有。今年度は Zoom での開催とする。

ア)10 月　OT 地域ミーティング　→地域リハに興味を持ってもらう導入編

イ)11 月　OT 地域ミーティング　→地域共生社会をテーマに実施予定

ウ)1～2 月　地域リハ人材育成研修会　地域ケア会議編

エ)2～3 月　地域リハ人材育成研修会　地域支援事業編

※10 月、11 月の地域ミーティングは平日の夜に実施し、若手や育児中の方でも気軽に参加できるように設定し、アウトブレークルームなども使用して相互交流を出来るような企画する予定。

※1 月～3 月の地域リハ人材育成研修会は 1 日の Zoom 企画で検討中。実際に神奈川県や隣県で行われている実践例を用いて行う方向で企画する予定。

(2)特別支援教育と作業療法研修会について

日時：8 月 7 日　日曜日　時間：10：00～12：30　　会場：オンライン（Zoom）

テーマ：発達性協調運動障害（DCD）のお子さんへアプローチと地域の場作り

講師：東恩納拓也 OT（東京家政大学）

※情報交換の場としても活用。30 名参加を目標としている。

8．制度対策部

以下の研修会を開催予定。

(1)福祉用具班主催研修会

ア)「知れば差がつく福祉用具セミナー導線から考える排泄編」（オンライン）9 月 3 日(土)9：30～12:00

イ)1 月頃（生活行為工夫事例の紹介）で企画中

(2)自動車運転班主催研修会

ア)「道交法改正に関する勉強会」

講師は神奈川県免許センター適性検査課の渋谷警部補に内諾いただいている。10 月ごろにオンライン開催予定。

(3)社会制度に関する研修会(1 回予定)

作業療法士管理責任者クラスを対象に診療報酬や第 3 者評価などへの対応について

(4)安否確認システムの運用訓練

9 月に実施予定

9．ウェブサイト管理委員会

(1)各部署ホームページ　掲載内容の更新依頼

(2)掲載情報の集計について　6～7 月分を 8 月にまとめて報告予定

(3)40 周年記念事業　ホームページ特設サイトを更新

10. 学会評議委員会

(1)第 19 回神奈川県作業療法学会の進捗状況

対面・オンラインのハイブリット開催を検討中。会場は茅ヶ崎市民会館を検討中。学会支援者として PTOTST ネットで見積もりを作成中。今後のタイムスケジュールは検討中。

(2)第 5 回臨床作業療法大会の進捗状況

チラシが完成し申し込みは Peatix を活用し 9 月 1 日～12 月 8 日の期間を予定。県民公開講座が確定。シンポジウムは準備中。広く県民にご参加いただけるように準備を進める。先日の横浜市との顔合わせでも関連団体を含めて広報を行った。

11. 生活行為向上マネジメント推進委員会

(1)2022 年度　第 1 回 MTDLP 推進会議

2022 年 6 月 22 日（水）19:00～21:00 に出席。主にマニュアルの改訂点とグループワークを実施。またアンケート集計結果について説明。指導者は全国的に右肩上がりであり、神奈川県は現在 4 名登録者が在籍。士会別の基礎研修修了者数について神奈川県は全国の平均レベルであり 10 番目程度で推移。事例検討会に関しては全国的に報告数が少なく、神奈川県はちょうど中間の状況となっている。

＜意見交換等＞

〇事例報告会については聴講のみ参加も可能か。少しでも報告者を増加するためには必要ではないか。

→現在 1 名の報告希望者に対して 2～3 名の指導者で丁寧に指導対応を行っている。提案の意図から聴講も可能としたい。今後募集の方法も検討し広報していきたい。

〇全国的には右肩上がりで増加していることは理解できた。今後当会として積極的に推進していくために行うべきことを日本作業療法士協会の考えも含めて教えてほしい。

→まだまだ少ない現状であるので周囲の会員に受講していただけるよう案内の協力をお願いします。事例報告数が少ないのは日本作業療法士協会審査の厳格さが影響している。今後の方針等については適宜発信していく。

〇神奈川県士会員の事例報告や実践のデータはあるのでしょうか。

→確認します。川崎は生活行為向上マネジメント加算の申請は 4 件あったと伺っています。

12. 認知症対策委員会

今年度は 2 回の研修会を予定。9～10 月にアップデート研修会、2～3 月に実践研修会を検討予定。

三浦半島で開催される予定の事業(RUN 伴＋)については小河原部員を通じて協力していく。

13. エリア化推進委員会

(1)エリア化実現に向けた構想について

県士会全体で構想を共有検討していきたい。委員会内で再検討した内容を説明・共有し質問意見を募りたい。現状の目的を①組織運営の強化、②地域活動の推進の 2 つに整理。エリア化の目的は①会員の県士会活動への参加を促すこと、②会員間のネットワークを構築すること、③地域貢献事業などへの参画を促すことと考える。

具体的には「行政への窓口」、「県民への作業療法啓発」、「各部署の公益事業拡大」、「OT コネクトミーティング開催(広域)」は県士会主体で行い、「地域支援活動助成金の活用」、「人材発掘育成」、「各エリア交流会」はエリア主体で開催していく構想。今後は県内を 8 エリアに分けて各地域コネクトミーティングを行い、2023 年度中に各エリアの担当会員を最低 3 名擁立したい。また 2024 年度には各エリアの交流会を年 2 回開催してい

きたい。
＜確認・質問＞
○エリア別の会員数データの更新が必要。
○エリア別担当者３名の擁立については日本作業療法士協会が推進している全国 1,700 市町村に作業療法士の窓口を配置する考えと一致している。窓口の役割も含めて適当な人材を検討していきたい。
○示してくれた「エリア化の目的」は当会のエリア化の目的なのか、エリア化推進委員会の目的なのか分からない。ネットワークづくりなのか、人材バンクを構築することなのか、それとも別の目的なのか不明瞭。エリア化推進委員会は何を目的に事業をおこなっていくのか、当会は組織化を進めていくためにはどうしたらの良いのか再検討して分かりやすく示してほしい。
【理事】
１．田中副会長
(1)40 周年記念プロジェクトチームより
記念事業予算見直しと報告、ロゴマーク入りグッズの送付について、40 周年記念特設ページの開設、40 周年記念誌の執筆依頼状況について報告。記念誌は関連団体に郵送する予定。郵送先に関しては各部署からリスト等があれば教えてほしい。会員に関してはホームページに掲載し閲覧できるようにする予定。改めて 40 周年記念を意識した企画、研修会チラシにロゴマークの掲載を依頼。
(2)事業評価について
来月理事会で各部署・ワーキンググループの事業中間評価ならびに課題と下半期にむけた活動について報告をしてもらう。今回は事前に記載されたシートを理事にて共有し、質問意見を予めもらったうえで、その点も含めて当日のプレゼンテーションを行う方針とする。
２．西川理事　田中副会長　神保会長
(1)横浜市健康福祉局　顔合わせ
7 月 14 日(水)顔合わせに出席。神奈川県理学療法士会、神奈川県言語聴覚士会も同席。①各団体の紹介、②意見交換(県域活動の好事例、市への要望、災害時の対応、地域活動の課題など)を行った。加えて第 5 回臨床作業療法大会についても広報させていただいた。
フレイル予防だけでなくその先にある課題(ハイリスクアプローチ)や with コロナへの対応を深めていく必要があると感じた。3 士会が一堂に会する貴重な機会にもなり、加えて横浜市の方針やシステムの詳細が分かった。今後の各地域活動の参考にもなると感じた。
３．大郷理事
(1)子ども発達委員会ワーキンググループ発足について
趣旨について説明。令和 5 年度に子ども関連部署の設立に向けてワーキンググループを発足し検討していきたい。具体的には①委員会の目的および方向性の共有、②事業計画および予算案の検討作成を行う。発起人の 3 名を含めて最大 5 名のメンバーで活動する。今年度の予算は会議 3 回分の 12,000 円を計上予定。
＜意見交換＞
○残り 2 名のメンバーは理事から立候補か。
→その通り
○制度対策部の中でも検討していた事案であるためぜひ協力したい
○事業の具体的な目標を立ててほしい

Ⅲ.審議事項について

１．後援名義使用について(事務局)

(1)第 39 回日本感覚統合学会研究大会について　→承認

(2) 第 29 回全国大会・第 20 回日本介護学会 IN かながわについて　→承認

２．部員・委員の承認について(事務局)　→承認

３．部員・委員の退任について(事務局)　→承認

Ⅳ.その他　連絡事項等

１．議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、錠内監事、望月理事、澤口理事。

２．三役会について

今後は事業計画と予算に関しての検討を行っていくため、財務部理事も毎月出席し 4 役会として開催する。

３．監事より

(1)錠内監事

本日もお疲れさまでした。特段ございません。

(2)野々垣監事

来月には半期の振り返りを行うとの事ですが、新型コロナウィルス感染症流行などの影響で変更を余儀なくされることもあると思います。県士会活動の負担が一部署や一個人に偏らないようにワークシェアを進めていただきたいと思います。本日もお疲れさまでした。

議事録署名人	議長：	神保　武則	印
	理事：	望月　強併	印
	理事：	澤口　勇	印
	監事：	錠内　広之	印

次回理事会日程：2022 年 8 月 21 日(日)13 時より開催予定